

先端的プロジェクト型研究・研究計画2

課 題 名	大学生による学校参加ボランティア・プロジェクトに関する実践的研究	
研究代表者名	氏 名 水原克敏 (教授学習科学コース)	
研究組織 (研究分担者等)	氏 名	所属 (大学名や講座名)
	水原克敏 (研究の統括・渉外)	教授学習科学講座
	加藤守通 (研究の分担)	人間形成論講座
	宮腰英一 (研究の分担)	教育政策科学講座
	中島信博 (研究の分担)	成人継続教育論講座
	小泉祥一 (研究の分担)	教授学習科学講座
	川住隆一 (研究の分担)	人間発達臨床科学講座
	本郷一夫 (研究の分担)	人間発達臨床科学講座
	谷口和也 (事務局の運営・報告書作成)	教授学習科学講座
研究計画		
研究目的と方法	<p>本研究は、大学における知的・人的財産の還元と、社会との連携をおこなうためのネットワークづくりに関する基礎的・実践的研究を目的としている。</p> <p>今後、大学では、社会との連携という役割がますます重視されてくるものと思われる。しかしながら、これまでの連携は個別の研究者による研究連携が主であり、大学全体、行政、学校現場を組織的に連携させた活動は少ない。特に、学生を含めた活動は、今後ますます学生サービスの充実が必要になるにもかかわらず、インターンシップなどを除いてそのノウハウがほとんど蓄積されていないのが現状である。本研究は、将来的に東北大学全体を視野に入れた、教育学研究科を拠点とする国際・地域両面からのネットワークづくり実践を行なうものである。</p> <p><b>【国際ボランティア】</b> 国際ボランティアは、すでに 2001 年より学生ボランティア研修を行なってきたモンゴル国の一般学校に対する援助・学生の派遣と文化交流を中心に行なう。ここでは、本研究科とすでに交流実績のあるモンゴル国文部科学文化省・ウランバートル市教育委員会とのネットワークと、日本における民間団体・宮城県下の高等学校とのネットワークを結ぶ形で、援助、教育開発研究の協力、学生ボランティアの派遣、モンゴル国の高校生の受入れを行なう。</p> <p><b>【地域ボランティア】</b> 教育学研究科←宮城県・仙台市教育委員会←各学校現場、および本研究科と私立学校とのボランティア要請のラインを構築し、データベースに登録された学生ボランティアを派遣する。その過程で、</p>	

	<p>現場の要請と大学の提供できる知的・人的財産のズレ、おこり得る問題点の把握、より機能するネットワークづくり、参加者の要望などを蓄積し、これらデータの分析結果を報告書としてまとめ広く共有するものである。現在、宮城県教委で、受入れの指針の作成が進められている。</p>
<p>研究計画概要 (スケジュール)</p>	<p>既に、非公式な形で、全学横断的に学生ボランティアの募集は開始されている。また、教育委員会や各学校との連携も開始され、新聞報道もされている。また、モンゴル国の行政やボランティア受入れ学校との協力実績は構築されている。</p> <p>今後、予算を得て、今年度中に各学校への広報、実際の学生ボランティアの派遣がなされる予定である。と、同時に、行政との折衝や、学校側からのフィードバックを得て、より機能するネットワークの構築を目指す予定である。</p> <p>これらの成果は、本年度2月をめどに報告書の作成を行い、3月にはその報告書を広く配布する予定である。</p>